

民間医療機関の「２０２５年における対応方針」に係る説明資料について
（グループ１：徳島市の「急性期機能」を有する民間医療機関）

徳島市の「急性期機能」を有する病院 ページ

①	医療法人いちえ会 伊月病院	1
②	徳島健康生活協同組合 徳島健生病院	4
③	医療法人なぎさ会 沖の洲病院	5
④	医療法人倚山会 田岡病院	6
⑤	医療法人若葉会 近藤内科病院	7
⑥	医療法人清和会 協立病院	8
⑦	医療法人尽心会 亀井病院	9
⑧	社会医療法人川島会 川島病院	10
⑨	医療法人高川会 虹の橋病院	11
⑩	医療法人栄寿会 天満病院	12
⑪	医療法人三成会 水の都記念病院	13
⑫	医療法人明和会 たまき青空病院	14

徳島市の「急性期機能」を有する有床診療所

⑬	医療法人山田眼科 山田眼科	15
⑭	医療法人大櫛耳鼻咽喉科医院 大櫛耳鼻咽喉科 はな・みみサージクリニック	16
⑮	医療法人宇都宮皮膚泌尿器科 宇都宮皮膚泌尿器科	17
⑯	医療法人三河眼科 三河眼科	18
⑰	医療法人泰生会 赤沢医院	19
⑱	医療法人有隣会 鎌田眼科医院	20
⑲	医療法人清家医院 清家医院	21
⑳	医療法人清芳会 春名産婦人科	22
㉑	医療法人祖川クリニック 祖川産婦人科クリニック	23
㉒	医療法人周和会 蕙愛レディースクリニック	24
㉓	医療法人青嵐会 むくの木クリニック	25
㉔	医療法人川内内科 川内内科	26
㉕	高杉内科外科小児科脳外科	27
㉖	医療法人循環器科大櫛内科医院 大櫛内科循環器科	28

病院の機能・役割と今後について

病院名	医療法人 いちえ会 伊月病院			
所在地	徳島県徳島市徳島町2丁目54番地			
開設者	西田 善彦			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	89床			89床
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	脳神経内科	内科		
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		29床		60床
2025年		29床		60床
主な病院機能				
脳神経外科	日本神経学会 準教育施設			
	専門医制度 協力型臨床研修病院			
内科	日本内科学会 準教育施設			
在宅	在宅療養支援病院			
	睡眠時無呼吸症候群の検査治療(CODP等も呼吸管理)			
	自動運転シミュレーター			
	LSBT(パーキンソン病リハビリ)			
自施設の現状	○ 専門性を持った病院(脳神経内科) ○ 在宅医療にも積極的に取り組んでいる ○ 内科の救急、一般病院で受入が難しい神経疾患の救急(ギランバレー症候群等)の治療を行っている ○ 人工呼吸(神経疾患)の救急、認知症、ボトックス外来 ○ 急性期の難病の患者も受け入れるため、慢性期の患者の疾患に応じた包括方式だけでなく難病における急性患者の医療サービスに対する出来高方式の医療も行っている			
自施設の課題	○ 救急医療の強化、患者支援体制の充実 ○ 入退院支援を強化し、地域連携を円滑に運営する ○ ネットワークセキュリティに関する整備・教育・オンライン会議体制の整備 ○ 災害救急医療の充実			
地域において今後担う役割	○ 脳神経内科・内科患者の急性増悪患者への対応 ○ 認知症患者の早期発見、早期治療および医療と介護のスムーズな連携 ○ 高度急性期病院からの転院支援			
今後の展望	○ 令和4年4月、一般病棟のうち13床を地域包括ケア病棟へ転換、今後は地域の医療機関との連携を図り、ニーズの変化できる医療体制を構築する ○ 神経筋疾患病棟を有する病院の統廃合が予定されている中、当院の役割が増すことが予想される			

診療統計：脳神経内科(2021年度)

年間外来患者数：1248名 (延べ14982名/年)
 年間入院患者数：221名 (平均在院日数93日)

外来上位患者数(名)	入院上位患者数(名)
パーキンソン病関連疾患	パーキンソン病関連疾患
アルツハイマー型認知症	アルツハイマー型認知症
多発ニューロパチー	筋萎縮性側索硬化症
脳梗塞	慢性炎症性脱髄性多発神経炎
重症筋無力症	脳梗塞
痙性斜頸	重症筋無力症
多発性硬化症	多発性硬化症

伊月病院における神経難病患者の内訳 (2021年度)

疾患名	患者数(入院)	患者数(徳島県)
パーキンソン病関連疾患 *	397(97)	1044
多系統萎縮症 * *	38(7)	87
脊髄小脳変性症	33(9)	166
筋萎縮性側索硬化症	31(19)	94
多発性硬化症(含・NMO)	20(5)	128
重症筋無力症	38(12)	201

* パーキンソン病関連疾患: パーキンソン病, 進行性核上性麻痺, 大脳皮質基底核変性症
 * * 多系統萎縮症: オリーブ橋小脳萎縮症, 線条体黒質変性症. Shy-Drager症候群

病院の機能・役割と今後について

病院名	徳島健生病院			
所在地	徳島県徳島市下助任町4丁目9			
開設者	理事長 児嶋誠一			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	158	28		186
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	内科・総合診療科	外科	整形外科	眼科・脳神経外科
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		50	108	28
2025年		50	108	28
主な病院機能				
がん	急性期を担う病院 自院・他院からの緩和ケアを担う病院			
脳卒中	回復期を担う病院 一部自院急性期を担う病院			
心血管疾患	回復期を担う病院 維持期を担う病院			
糖尿病	外来・入院機能。特に教育入院。			
救急	救急告示病院 2次救急			
在宅	在宅療養支援病院 自院からの訪問診療			
整形疾患	急性期を担う病院 自院・他院からの回復期を担う病院			
透析	外来・入院透析			
外科疾患	急性期を担う病院 ドレナージ継続必要など他院からの紹介を担う病院			
デイケア	短時間デイを提供			
検診	事業所検診・特定健診・人間ドックなどに対応			
自施設の現状	急性期 地域包括ケア病棟 回復期リハビリテーション病棟 療養型病棟を持つ。積極的に2次救急対応を行なっている。急性期病棟では多数の整形外科および外科手術を行っている。地域包括ケア病棟においてサブアキュート ポストアキュート機能を持つ。緩和ケア病棟は持っていないが、地域包括および療養型病棟で基幹型病院からの緩和ケア対象者を受け入れている。回復期病棟では整形外科 脳神経外科患者を対象に積極的にリハビリを行っている。			
自施設の課題	必要な時にすぐにベッドを提供できないことがあり、ベッドコントロールと医療提供体制の強化が必要。自院の医療内容を広報するしくみが十分機能していない。			
地域において今後担う役割	院内資源をフルに活用し地域医療を支えていく。とりわけ、今後さらに増加が見込まれる脆弱性骨折に対して予防・手術・合併症管理・リハビリ、さらに骨折後の骨粗鬆症治療を一体的に行い、骨折で死亡したり寝たきりになったりする人を減らしていく。			
今後の展望	現在のベッド機能を維持する。			

病院の機能・役割と今後について

病院名	医療法人なぎさ会 沖の洲病院			
所在地	徳島市城東町一丁目8番8号			
開設者	仁木 寛治			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	52			52
(うち非稼働病床)	(19)	()	()	(19)
主な診療科目	1	2	3	4
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		52		
2025年		52		
主な病院機能				
がん				
脳卒中				
心血管疾患				
糖尿病				
救急	救急告示病院			
在宅	在宅療養支援病院			
自施設の現状	救急患者(軽傷)の受入等、急性期機能を担う病院として医療を提供 予防医療として、併設健診センターで健診、人間ドックを行っている。			
自施設の課題	救急患者受入れの強化 非稼働病床の稼働			
地域において今後担う役割	基幹病院、地域の病院との中間的役割の強化 予防検診での病気の早期発見と、その後の精査、治療、基幹病院への紹介等			
今後の展望	非稼働病床を稼働させ、地域包括ケア病棟、療養病床の増設等 ニーズに合わせた病床を運用する			

病院の機能・役割と今後について

病院名	田岡病院			
所在地	徳島県徳島市万代町4丁目2番地2			
開設者	理事長 田岡博明			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	199床			199床
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	整形外科	外科	脳神経外科	総合診療科
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		90床	107床	2床
2025年		90床	107床	2床
主な病院機能				
がん	標準診療医療機関			
脳卒中	急性期、回復期機能を有する医療機関			
心血管疾患	—			
糖尿病	標準診療医療機関			
精神疾患	精神疾患を有する患者で、身体的治療が必要な場合は受入れしている。			
救急	救急告示病院、救急輪番病院			
小児	—			
周産期	—			
災害	災害医療支援病院			
へき地	—			
在宅	訪問診療、訪問看護を提供			
自施設の現状	徳島県地域医療構想より、県における回復期病床が不足している中、県の構想に対応すべく、2020年10月に急性期病床44床と慢性期病床31床を回復期病床64床へ病床転換を実施。 また、全体の病床数を210床から199床へダウンサイジングし、体制整備を図っている。			
自施設の課題	二次救急医療機関として、年間2,500件以上の救急車を受入れているが、さらなる受入れ件数増加が可能となるよう、体制を強化する。			
地域において今後担う役割	医療圏における二次救急医療機関のかなめとしての役割と、地域医療連携の推進のため、病床転換で増床となった回復期病床を、高度急性期からの受入れや在宅患者の急性増悪等の受入れに活用し、より一層の連携を図り、地域ニーズに対応する。			
今後の展望	上記、地域において今後担う役割に記載のとおり、実行していく。			

病院の機能・役割と今後について

病院名	近藤内科病院			
所在地	徳島市西新浜町1丁目6-25			
開設者	近藤 彰			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	55			55
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	内科	緩和ケア内科		
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		35		20
2025年		35		20
主な病院機能				
がん	緩和ケア、検診			
脳卒中	回復期、維持期			
新血管疾患	回復期、再発防止			
糖尿病	初期・安定期・急性増悪時治療、教育入院			
在宅	在宅療養支援病院			
自施設の現状	地域包括ケア病床では、期間病院からの転院や在宅療養中の高齢者の状態悪化時、急性期疾患の受け入れを行い、在宅復帰率は80%程度。緩和ケア病棟では疼痛緩和、QOLを高める医療を提供している。			
自施設の課題	地域医療を支える医療・介護の提供。システムの構築。リハビリ(訪問・通所・外来)の充実。			
地域において今後担う役割	がん、非がん患者への緩和ケアの提供 (心不全、神経難病、アルツハイマー型認知症、呼吸不全など)			
今後の展望	緩和ケアと地域包括システムを中心に豊かな高齢化社会を目指す			

病院の機能・役割と今後について

病院名	協立病院			
所在地	徳島県徳島市八万町寺山13-2			
開設者	医療法人 清和会			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護医療院	合計
	60床	139床	96床	295床
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	脳神経外科	内科	整形外科	
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		60床	46床	93床
2025年		60床	46床	93床
主な病院機能				
脳卒中	急性期、回復期、維持期を担う病院			
救急	救急告示病院			
在宅	訪問看護ステーション			
自施設の現状	令和4年5月に病院の新築移転を行った。 【内訳】 全295床(〔医療〕回復期病棟:46床、一般病床:60床、医療療養病床:93床) (〔介護〕介護医療院:96床) 急性期から回復期・慢性期医療まで幅広い機能を担う病院として、 医療・介護を提供している。			
自施設の課題	救急、外来、入院機能は充実していると思われる。 今後は、在宅療養機能の強化が課題である。 2023年2月より、訪問看護ステーションを開設したので、さらなる地域医療への 貢献を担えるよう在宅系事業の充実を図る。			
地域において今後担う役割	「地域住民の健康を支え、安心・信頼される病院であり続けます。」という 法人理念のもと、時代の背景や地域に求められるニーズに対応しながら 地域に密着した医療・介護サービスを提供していく予定。			
今後の展望	令和5年4月(予定)、一般病棟の一部を地域包括ケア病床へ転換予定。			

病院の機能・役割と今後について

病院名	亀井病院			
所在地	徳島県徳島市八万町寺山231			
開設者	医療法人 尽心会			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	42床			42床
(うち非稼働病床)	(0床)	()	()	(0床)
主な診療科目	1	2	3	4
	泌尿器科	腎臓内科		
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		42床		
2025年		42床		
主な病院機能				
がん				
脳卒中	回復期、維持期を担う病院			
心血管疾患				
糖尿病	慢性合併症の治療(人工透析)を担う病院			
精神疾患				
救急				
小児				
周産期				
災害				
へき地	令和5年度より、へき地診療所(木沢診療所)支援予定			
在宅	在宅療養支援病院			
自施設の現状	○腎泌尿器科に特化した専門病院として、平成30年度よりDPC対象病院(効率性係数は全国1位)となり、対象疾患患者の積極的な受入を行い、急性期機能を担う病院として医療を提供している。 ○末期癌患者等の受入を行い、緩和ケアを実施し、終末期医療を担っている。			
自施設の課題	○腎泌尿器科の診療領域において、更なる質の向上を目指し、より専門的な医療を提供することで、地域医療を支える役割を担う。 ○腎泌尿器科に特化した専門病院であるため、かねてより地域の病院、診療所等との連携を深めているが、より一層強化し、専門分野において役割分担を担う。			
地域において今後担う役割	○医療・福祉・介護・予防・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築に向け、地域医療連携の推進に取り組み、介護・福祉施設等との連携を図る。(専門分野における状態急変高齢者、終末期患者等の積極的な受入等)			
今後の展望	○より高度で安全かつ効率的な医療を提供できるよう、人工透析設備の拡充、体制の整備を図る。 ○へき地での医療資源不足解消に貢献するため、令和5年度より、へき地診療所(木沢診療所)への支援を開始する。			

病院の機能・役割と今後について

病院名	川島病院			
所在地	徳島県徳島市北佐古一番町6-1			
開設者	社会医療法人 川島会			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	123床			123床
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	腎臓内科	循環器科	泌尿器科	糖尿病内科
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		123床		
2025年		123床		
主な病院機能				
がん	医療支援ロボット使用し腎泌尿器系の悪性腫瘍の治療を担う病院。			
脳卒中	急性期(t-PAなどの超急性期を除く)、回復期、維持期を担う病院			
心血管疾患	急性期、回復期、維持期を担う病院			
糖尿病	初期・安定期、専門的治療を担う病院			
精神疾患				
救急	第2次救急告示病院			
小児				
周産期				
災害	徳島県透析医会の透析災害拠点病院			
へき地	へき地診療所に医師派遣(西祖谷山村診療所)			
在宅				
自施設の現状	○ 心血管疾患、腎疾患を中心に救急患者等の受入をし急性期機能を担う病院として医療を提供 ○ 医療支援ロボットなど最先端医療機器を導入し急性期機能を担う病院として医療を提供 ○ 腎泌尿器(透析患者約480名、急性腎不全、腎移植)、循環器、糖尿病、消化器、整形などを中心に急性期を担う病院として医療を提供 ○ 社会医療法人として、へき地医療の充実、第2次救急告示病院、および徳島県透析医会の透析災害基幹病院としての役割を担っている。 ○ 新型コロナウイルス感染症重点医療機関の指定を受け専用病棟を確保し急性期を担う病院として医療を提供			
自施設の課題	○ 急性期治療を担う専門的な医師、看護師を確保し体制強化する。 ○ 地区医師会等との連携を強化し、地域の病院と連携連携パスなど使用し役割分担を担う。 ○ 在宅療養支援病院、在宅療養後方支援病院・施設との連携強化を図る。			
地域において今後担う役割	○ 第7次徳島県保健医療計画の5事業のうち「救急医療提供体制の整備」、「へき地医療体制の整備」の2項目に、5疾病のうち「心筋梗塞等の心血管疾患の医療体制」、「糖尿病医療体制」の2項目に位置付けられており、地域住民の役に立ち、急性期機能を担う病院として地域医療の発展向上に寄与する。 ○ 川島会では川島病院を中心に県内に6つのサテライトクリニックで県内透析患者の4割の約1100人の透析患者を治療しており今後も県内透析治療の中心的な役割を担う。 ○ 建物は発生確率の高い南海トラフ地震に備え間免震構造を採用しており、災害時の医療提供同地区住民の避難場所となるなど地域防災の拠点を担う。			
今後の展望	○ 腎泌尿器科疾患、循環器科疾患、糖尿病を主たる診療分野とし、今までに導入、整備してきた設備・装置の活用と職員のレベルアップ、効率的配置を図ることにより組織としての体力をつけ診療や検査の内容を充実させ、患者に信頼される存在になり、急性期治療を地域に提供できる病院となる。 ○ 令和5年から新設した住宅型有料老人ホームを有効利用し、更に急性期患者比率を高める。			

病院の機能・役割と今後について

病院名	虹の橋病院			
所在地	徳島県徳島市中島田町3丁目60番地1			
開設者	竹内 尚			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	30	30		60
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	内科	整形外科	リハビリテーション科	
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		30	30	
2025年		30	30	
主な病院機能				
がん	緩和ケア			
脳卒中	回復期を担う病院			
心血管疾患	回復期・維持期を担う病院			
整形疾患	急性期・回復期・維持期を担う病院			
糖尿病	治療・教育入院			
在宅	在宅療養支援病院			
自施設の現状	かかりつけ患者及び自施設の高齢者が体調を崩した際に必要に応じて入院受け入れを行っている。			
自施設の課題	救急患者の受入が可能な体制強化等を図り、地域医療を支える役割を担う。			
地域において今後担う役割	医療・予防・介護・生活支援に取り組み、地域のかかりつけ医としての機能、予防検診の強化、高齢者を含む幅広いニーズへの対応。			
今後の展望	今後の多様化する地域医療におけるニーズに対応できるよう体制整備の強化。			

病院の機能・役割と今後について

病院名	天満病院			
所在地	徳島県徳島市蔵本町1丁目5-1			
開設者	医療法人栄寿会 理事長 福本礼			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	72			
(うち非稼働病床)	17	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	内科	消化器内科	糖尿病内科	整形外科
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		17	30	8
2025年		17	47	8
主な病院機能				
糖尿病	糖尿病専門医と糖尿病療養指導士のスタッフによる予防および治療の推進			
小児	小児科および児童精神科にて対応治療			
救急	救急告示病院			
在宅	在宅療養支援病院3			
自施設の現状	超急性期病院での治療後の回復期の患者の治療を推進。併せて、高齢者施設を含む在宅の高齢者が体調を崩したときに、必要に応じてスムーズに入院ができるよう体制整備を図っている。 ・糖尿病治療にも注力している。			
自施設の課題	急性期病院、地域のクリニック、高齢者施設、介護施設との連携のさらなる推進			
地域において今後担う役割	・地域包括ケアシステムの構築に向け、当院が率先して回復期機能を始めとした地域医療連携の推進に取り組み、介護・福祉施設等とも連携を図る。			
今後の展望	・今後も見込まれる回復期患者の需要に対して、未稼働17床を地域包括ケア病床として増床し、回復期病床の充実を図り、地域の医療ニーズに応えていく。 ・リハビリスタッフも充実させ、急性期治療から在宅、施設入居まで対応していきたい。			

病院の機能・役割と今後について

病院名	水の都記念病院			
所在地	徳島県徳島市北島田町1丁目46番11			
開設者	医療法人 三成会			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	80			80
(うち非稼働病床)	0	()	()	0
主な診療科目	1	2	3	4
	内科	消化器外科・肛門外科	脳神経外科	整形外科
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		51	29	
2025年		51	29	
主な病院機能				
がん	胃がん、肺がん、大腸がん、乳がんの治療、検診を行っている			
脳卒中	検査は24時間可能である。急性期から回復期にかけてのリハビリテーションを実施している。			
心血管疾患				
糖尿病	検査、教育入院、糖尿病教室を開催			
精神疾患				
救急	二次救急病院、四肢骨折に対応、急性腹症対応			
小児				
周産期				
災害				
手術	腹腔鏡手術(鼠経ヘルニア、胆石)、肛門手術、四肢骨折手術			
自施設の現状	救急患者の受け入れなど、急性期機能を担う病院として医療を提供。地域の患者様が体調を崩したときに、必要に応じてスムーズに入院ができるように体制整備を整えている。			
自施設の課題	救急医療の機能を含め、地域医療を支える役割を担うとともに、医療・福祉・介護・予防・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの実現に向け体制を強化する。地区医師会等と連携し、地域の病院、診療所との役割分担を担う。			
地域において今後担う役割	救急医療の充実、地域医療を支える役割を担い、医療・福祉・介護・予防・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築に向け、地域医療連携の推進に取り組み、介護・福祉施設等とも連携を図る。(地域密着促進、高齢者等幅広いニーズへの対応、予防検診の強化、在宅支援機能の強化など。)			
今後の展望	病院機能は、現状を維持し、今後も引き続き地域の病院、診療所と連携を行い地域医療に貢献する。			

病院の機能・役割と今後について

病院名	たまき青空病院			
所在地	徳島市国府町早淵字北カシヤ56番地1			
開設者	理事長 田蔭 正治			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	60	40	0	100
(うち非稼働病床)	0	0	0	0
主な診療科目	1	2	3	4
	内科	リハビリテーション科	糖尿病代謝内科・内分泌内科	腎臓内科
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状	0	20	40	40
2025年	0	20	40	40
主な病院機能				
がん	特定機能病院、地域基幹病院との連携			
脳卒中	回復期、維持期を担う病院			
心血管疾患	回復期、維持期を担う病院			
糖尿病	日本糖尿病学会認定教育施設、複数の研修指導医・専門医が在籍			
腎臓病	日本腎臓学会・日本透析医学会の認定教育施設、複数の研修指導医・専門医在籍 腎生検による確定診断、血液透析コンソール80台、腹膜透析も実施			
救急	救急告示病院			
災害	EMIS(広域災害・救急医療情報システム)への参加、全日病災害時医療活動指定病院			
在宅	在宅療養支援病院、訪問看護ステーション併設			
自施設の現状	○救急患者等の受入を始め、急性期医療を担う病院として医療を提供。 ○地域包括ケア病床40床を有し、回復期機能を担っている。 ○在宅療養支援病院として訪問診療・訪問看護を行い、在宅療養中の患者を受け入れ、積極的に支援体制を行っている。 ○コロナ陽性患者受入重点医療機関、多数の発熱外来・サポート医活動を実施。			
自施設の課題	○地域包括ケアシステムに向けての体制作り ○急性期病床の稼働率向上 ○看護師の求人強化			
地域において今後担う役割	○医療・福祉・介護・予防・生活支援を一体的に提供する地域包括支援システムの構築に向け、当地域で唯一のケアミックス病院として、当院が率先して地域医療介護の連携推進に取り組み、基幹病院・地域の診療所との連携を深める。			
今後の展望	○令和7年までに地域包括ケア病棟の増床(10～20床)を図り、地域医療のニーズの変化に対応する。			

病院の機能・役割と今後について

病院名	山田眼科			
所在地	徳島市中通町2丁目31			
開設者	医療法人山田眼科 理事長山田光則			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	19	0	0	19
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	眼科			
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		19		
2025年		19		
主な病院機能				
	白内障、緑内障、網膜剥離、網膜症、角膜移植などの各種眼科手術を行い急性期を担う。			
	時間外、深夜、休日などの急患対応。			
自施設の現状	各種手術、救急患者受け入れなど、急性期機能を担う診療所として医療を提供			
自施設の課題	医師が一人しかいないが、眼科は、当番制がなく、休日診療所や救急対応病院から、眼科の患者が常時回ってくる。(自宅にいる場合は対応しているが、深夜や明け方のことも多いので健康面が心配)			
地域において今後担う役割	今後も引き続き各種手術などを受け入れていく予定。			
今後の展望	後継者を育てて将来も今の形態を継続していく予定。			

病院の機能・役割と今後について

病院名	大櫛耳鼻咽喉科 はな・みみサージクリニック			
所在地	徳島県徳島市寺島本町東2丁目19			
開設者	大櫛 弘篤			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	7			7
(うち非稼働病床)	0	()	()	0
主な診療科目	1	2	3	4
	耳鼻咽喉科			
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		7		
2025年		7		
主な病院機能				
耳鼻咽喉科疾患	手術や急性期疾患の対応			
自施設の現状	耳鼻咽喉科として外来診療を行うとともに、手術や急性期疾患に対する入院下での対応を行なっている。			
自施設の課題	県や地区の医師会連携を一層強化し地域の耳鼻咽喉科診療の役割分担を担う			
地域において今後担う役割	耳鼻咽喉科診療について外来から手術まで一体的に提供できる診療システムの構築を図る。より安全で精度の高い耳鼻咽喉科診療を提供できるよう医療ニーズに対応していく			
今後の展望	医療のICT化を促進する。 耳鼻咽喉科という感覚器を扱う診療科として、病態を精査する機器の導入を図る			

病院の機能・役割と今後について

病院名	宇都宮皮膚泌尿器科			
所在地	徳島市吉野本町1丁目11番地			
開設者	宇都宮正登			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	19			19
(うち非稼働病床)		()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	泌尿器科	皮膚科	形成外科	
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		19		
2025年		19		
主な病院機能				
泌尿器科	泌尿器科疾患の急性期に対応、前立腺肥大症、膀胱腫瘍などの手術を施行。			
皮膚科	皮膚科疾患の急性期に対応、ヘルペスなどの入院治療			
形成外科	比較的大きな手術の術後対応			
自施設の現状	現在の状況は入院手術には基本的に対応していない。前立腺生検などの日帰り入院に対応している。			
自施設の課題	今後の入院加療につき、継承後の対応に課題があります。			
地域において今後担う役割	泌尿器科、皮膚科、形成外科の急性期病変に専門的に対応します。			
今後の展望	継承後の入院加療の体制につき検討が必要です。			

病院の機能・役割と今後について

病院名	三河眼科			
所在地	徳島市幸町3丁目34番地の1			
開設者	理事長 三河洋一			
許可病床数(床)	一般 5床 (うち非稼働病床) ()	医療療養 ()	介護療養 ()	合計 5床 ()
主な診療科目	1 眼科	2	3	4
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状 2025年		5床 5床		
主な病院機能				
眼科手術	・手術後の早期の治療を行う。			
眼科一般				
自施設の現状	・眼科単科では、コロナ対応が不可能なため、現在入院中止中			
自施設の課題	・コロナ終息後、再度入院環境を整える。			
地域において今後担う役割	・大学病院に近いレベルの治療を行う。			
今後の展望	・大学病院に近い治療レベルを落とさないように頑張る。			

病院の機能・役割と今後について

病院名	医療法人 泰生会 赤沢医院			
所在地	徳島県徳島市川内町沖島68-1			
開設者	赤澤泰秀			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	19			
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	泌尿器科	内科		
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		19		
2025年		19		
主な病院機能				
泌尿器科全般の診療	泌尿器科疾患の急性期、慢性期を担う医院			
腎不全の診療	腎不全の急性期、慢性期の治療、人工透析を担う医院			
糖尿病	合併症として末期腎不全となった患者の人工透析を行う			
自施設の現状	基幹病院で腎不全のため人工透析療法を導入された患者の維持透析を担う病院として医療を提供。 新しく人工透析療法を必要とする患者の急性期医療を担う病院として医療を提供。 泌尿器科疾患の外来診療、通院血液透析患者には日中の透析に加え、夜間透析も行っている。透析後の体調不良や基幹病院での手術後など急性期、回復期の入院対応、また高齢などの理由でADLが低下し通院困難となった患者には入院での透析治療を継続している。			
自施設の課題	人工透析療法の機能を含め地域医療を支える役割を担う。他の介護・福祉施設等とも連携を図り役割分担を担う。			
地域において今後担う役割	主に透析治療領域における医療・福祉・介護・予防・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築に向け地域医療連携に取り組み、介護・福祉施設等とも連携を図る。			
今後の展望	当院に通院している透析患者の半数は70歳以上であり、ほとんどの人が10年以上通院している近隣の方である。今後ますます高齢化が進み、通院が困難となってくるケースが増えてくると思われ、病床を維持できる人員の確保が必要。			

病院の機能・役割と今後について

病院名	鎌田眼科医院			
所在地	徳島市二軒屋町3丁目30-2			
開設者	鎌田光二			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	8			8
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	眼科			
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		8		
2025年		0		
主な病院機能	眼科診療			
自施設の現状	眼科救急患者を受け入れ診療を行っている			
自施設の課題	眼科手術をすることがなくなったので、受け入れ救急患者に限りがある			
地域において今後担う役割	手術を要しない救急患者の診療と、必要があれば他施設に紹介する			
今後の展望	無床診療所に変更する予定			

病院の機能・役割と今後について

病院名	清家医院			
所在地	徳島県徳島市上八万町下中筋90番地1			
開設者	清家 純一			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	19床			19床
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	内科	外科	リハビリテーション科	
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		19床		
2025年		19床		
主な病院機能				
かかりつけ医	慢性疾患、生活習慣病の経過観察および治療			
	急性疾患の診断および治療			
	基幹病院の後方支援診療所			
がん	終末期ケア			
自施設の現状	○地域のかかりつけ医としてプライマリーケアを提供する。 ○かかりつけ患者の体調に応じ入院加療できるよう努める。 ○病診連携で適切な医療にアクセスできるよう心がけている。			
自施設の課題	○地域医療のマネジメント。			
地域において今後担う役割	○地域医療の要としてきめ細かいサービスの提供。			
今後の展望	○現在の診療体系の維持、向上。			

病院の機能・役割と今後について

病院名	医療法人 清芳会 春名産婦人科			
所在地	徳島市南二軒屋町1-2-55			
開設者	春名 充			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	14			14
(うち非稼働病床)	(14)	()	()	(14)
主な診療科目	1	2	3	4
	産婦人科			
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状				
2025年				
主な病院機能				
周産期				
自施設の現状	婦人科疾患を主に外来診療を行っている			
自施設の課題	看護師不足			
地域において今後担う役割	家庭医として患者に寄り添う			
今後の展望	特になし			

病院の機能・役割と今後について

病院名	祖川産婦人科クリニック			
所在地	徳島市北田宮3丁目5-65			
開設者	祖川 隆年			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	13床			13床
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	産婦人科	小児科		
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状	0	13	0	0
2025年	0	13	0	0
主な病院機能				
産婦人科	周産期専門医 産婦人科専門医			
	臨床遺伝専門医 母体保護法指定医			
自施設の現状	当院は分娩を中心に診療しており、令和4年度は430件の分娩をとりあつかった。 徳島大学 小児科より週1回の診療を入院および退院後の新生児におこなっている。			
自施設の課題	分娩数の急激な減少があり、少子化対策としても分娩可能な診療所として存続をはかりたい。			
地域において今後担う役割	徳島市において、分娩をとりあつかう診療所(開業医)は現在2施設まで減少している。 公的医療機関との連携も現在はうまくいっているが、産婦人科医師の減少等困難な問題も多い。			
今後の展望				

病院の機能・役割と今後について

病院名	恵愛レディースクリニック			
所在地	徳島市佐古三番町4-6			
開設者	理事長 鎌田 周作			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	19			19
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	産婦人科			
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		19		
2025年		19		
主な病院機能				
周産期	急性期を担う			
不妊治療				
自施設の現状	周産期医療、高度不妊治療施設として、地域に貢献する医療機関である			
自施設の課題	産婦人科医の確保が困難。24時間勤務が困難な状況である。NICU、小児科併設ではないため、緊急搬送も多々ある。			
地域において今後担う役割	現状維持			
今後の展望	現状維持			

病院の機能・役割と今後について

病院名	むくの木クリニック			
所在地	徳島市国府町東高輪353番地の1			
開設者	理事長 中村 晃子			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	19床			19床
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	内科	整形外科	リハビリテーション科	
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		19床		
2025年		19床		
主な病院機能				
糖尿病				
在宅	在宅療養支援診療所			
自施設の現状	○在宅療養中の高齢者や高齢者施設の高齢者が体調を崩したときに、必要に応じてスムーズに受診・入院ができるよう体制整備、連携強化を図っている。 ○体調に異変を感じた地域の方が速やかに検査・受診できるよう発熱外来の体制強化を図っている。			
自施設の課題	○地域医療を支える役割を担うとともに、医療・福祉・介護・予防・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの実現に向け体制を強化する。 ○地区医師会等との連携をより一層強化し、地域の病院、診療所との役割分担を担う。			
地域において今後担う役割	○医療・福祉・介護・予防・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築に向け、率先して地域医療連携の推進に取り組み、介護・福祉施設等とも連携を図る。(高齢者等幅広いニーズへの対応、予防検診の強化、在宅支援機能の強化。)			
今後の展望				

病院の機能・役割と今後について

病院名	川内内科			
所在地	徳島市国府町和田字原淵67-1			
開設者	川内千徳			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	19床			19床
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	内科	循環器内科	消化器内科	リハビリテーション科
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		19床		
2025年		19床		
主な病院機能				
がん	ターミナルケアの入院など			
脳卒中	急性期から亜急性期の加療、またリハビリテーション			
心血管疾患	急性期から亜急性期の加療、またリハビリテーション			
糖尿病	糖尿病コントロール入院など			
精神疾患				
救急	内科分野の救急医療			
小児				
周産期				
災害				
へき地				
在宅	地域や関連高齢者施設との連携			
自施設の現状	○かかりつけ外来患者の急性期医療目的の入院 ○救急病院からの入院、転院の受け入れ(急性期から亜急性期の加療やリハビリテーション) ○他、医療機関からの入院依頼に対する受け入れ ○当院関連の高齢者施設から状態悪化患者の入院			
自施設の課題	○高度急性期病院からスムーズな受け入れができていない。○高齢者の入院が大多数を占めているため、入院が長期化する傾向にあり病床の回転が悪い。			
地域において今後担う役割	○当院のかかりつけ患者のみならず地域医療機関から入院の必要な患者の受け入れを行う ○徳島大学病院や県立中央病院など高度急性期医療機関から速やかに入院、転院の受け入れを行う ○当院には関連の高齢者施設やデイサービス等が複数あり、自宅退院困難な患者への施設入所や退院後のデイクア、デイサービス利用など検討できる。			
今後の展望	○今後も有床診療所として急性期患者の受け入れを維持していく。○今後、内科のみでなく整形外科医を確保し、急性期のリハビリテーションにも力を入れていく。			

病院の機能・役割と今後について

病院名	高杉内科外科小児科脳外科			
所在地	徳島市国府町芝原字天満25-1			
開設者	高杉 晋輔			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	19			19
(うち非稼働病床)	(2)	()	()	(2)
主な診療科目	1	2	3	4
	脳神経外科	内科	整形外科	外科
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		9		10
2025年		9		10
主な病院機能	MRI、CT、上部、下部消化管内視鏡、エコー、骨密度測定などの機器があり、色々検査ができる。			
	手術室、リハビリ室があり、ある程度の急性期の患者様にも対応できる。			
自施設の現状	急性期の患者様も慢性期の患者様も入院している。			
自施設の課題	職員が少ないので職員を増やしたい。			
地域において今後担う役割	急性期の患者様にも対応をしていきたい。			
今後の展望	職員を増やして今の医療を維持していきたい。			

病院の機能・役割と今後について

病院名	大櫛内科循環器科			
所在地	徳島市寺島本町東3丁目10			
開設者	大櫛 日出郷			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	19床			19床
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	内科	循環器内科		
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		7床	5床	7床
2025年		7床	5床	7床
主な病院機能				
がん	回復期、末期を担う診療所			
脳卒中	回復期、維持期を担う診療所			
心血管疾患	急性期、回復期、維持期を担う診療所			
糖尿病	教育および治療を行う診療所			
精神疾患	慢性期を担う診療所			
救急	急性期を担う診療所			
災害	災害時支援を行う診療所			
在宅	在宅療養支援診療所			
その他	学校医、ワクチン接種、発熱外来、健康診断等を行う診療所			
自施設の現状	救急患者等の受入を始め、急性期機能から回復期、慢性期を含め幅広い医療を提供 在宅療養中および施設入所中の高齢者が体調を崩した時に必要に応じて入院できる体制 整備を図っている			
自施設の課題	回復期のリハビリ機能を強化し、急性期から回復期、在宅への移行がスムーズに行く様に努 力する 地域の病院、診療所との役割分担を担う			
地域において今後担う 役割	地域医療連携の推進をはかり、介護、福祉施設等と連携を図る 在宅医療を引き続き行い、地域の病院との連携をはかる			
今後の展望	在宅医療を継続し、救急医療、回復期医療、慢性期医療をバランス良く、地域医療ニーズに 対応できる様にする			